
見附台周辺地区整備・管理運営事業（A・Cブロック）に係る
市民意見等に対する市の考え方

平成 31 年 2 月 13 日

平 塚 市

見附台周辺地区整備・管理運営事業（A・Cブロック）に係る市民意見等に対する市の考え方

1 意見・質問の受付方法

下表のとおり説明会を開催し、意見・質問を受け付けました。また、説明会のほか、関係団体等からもご意見等をいただきました。

実施日	会場	対象	参加人数
平成 30 年 12 月 21 日（金）	市民センター 大会議室	見附町町内会、錦町町内会、ライオンズプラザ平塚見附町自治会	21 名
平成 30 年 12 月 22 日（土）	教育会館 大会議室	市民	65 名
平成 30 年 12 月 26 日（水）	教育会館 大会議室	市民	28 名

2 意見・質問の提出状況

① 事業全般について	16 件
② （仮称）新文化センターについて	31 件
③ 見附台公園について	8 件
④ 付帯事業について	7 件
⑤ その他	11 件
合 計	73 件

3 意見・質問への対応区分

項目	説明	件数
◎：反映する	意見を受けて本事業へ反映するもの	2 件
○：既に対応、提案あり	既に本事業で対応しているもの又は事業者から提案されているもの	10 件
△：今後検討する	今後、本事業への反映等を検討するもの	15 件
×：反映は困難	本事業への反映が困難なもの	5 件
—：質問に対する回答	本事業に係る質問に対する回答	41 件
合 計		73 件

見附台周辺地区整備・管理運営事業(A・Cブロック)に係る市民意見等に対する市の考え方

①事業全般について <対応の凡例> ◎：反映する ○：既に対応、提案あり △：今後検討する ×：反映は困難 -：質問に対する回答

意見	質問	No.	意見・質問の概要	市の考え方	対応
○		1	市民生活の快適性や利便性を向上させ、平塚駅周辺や中心商店街の活性化に寄与する施設整備をお願いする。	提案では、(仮称)新文化センターは公演の無い日も日常的に立ち寄れる場とし、併せて「いつも何かやっている」事業展開の工夫による賑わいづくりをめざしています。公園や商業施設も含め一体的に整備し、文化芸術に比較的関心の低い方や子育て世代にも利用価値のあるエリアへとすることで、周辺からの人が訪れやすく、周辺地域にも人の循環をもたらす施設をめざします。	○ 対応済み
○		2	見附台周辺地区は平塚駅周辺における最後のまとまった市有地である。この見附台周辺地区の整備によって、これからの中心商店街の価値が決まると考えている。	提案では、中心市街地の活性化のため、(仮称)新文化センターは公演の無い日も日常的に立ち寄れる場とし、併せて「いつも何かやっている」事業展開の工夫による賑わいづくりをめざすとしています。駅周辺の商店街や平塚駅西口に係る施策と連携しながら、それぞれの整備に相乗効果を持たせるよう見附台周辺地区の整備を進めていきます。	○ 対応済み
○		3	平塚駅西口再開発などの市が進めている平塚駅周辺活性化に係る施策などと連携しながら、見附台周辺地区の整備も考えてもらいたい。	中心市街地の活性化のため、見附台周辺地区だけを捉えるのではなく、駅周辺の商店街や平塚駅西口に係る施策と連携しながら、それぞれの整備に相乗効果を持たせるよう見附台周辺地区の整備を進めていきます。	△ 検討する
○		4	公共施設、民間施設ともに、事業期間はどうなっているのか。事業期間終了後は、施設の管理等はどうなるのか。	(仮称)新文化センター及び見附台公園に係る事業期間としては、約23年間(設計・建設期間は約3年、維持管理・運営期間は約20年間)となっています。事業期間終了時には事業者から市に施設の維持管理・運営が引き継がれます。また、提案では、民間施設の事業期間は37年6ヶ月間の計画です。事業期間終了後は、原則として施設を撤去し原状に回復したうえで市へ土地が返還されます。	- 質問の回答
○		5	(仮称)新文化センターを建設するコンセプトはなにか。文化施設をつくるのが目的なのか。または、賑わいづくりが目的なのか。	(仮称)新文化センターは市民センターの代わりになるとともに、文化の創造拠点として整備します。さまざまな文化芸術に触れる機会を作ることで市民の文化への関心を高め、主体的、継続的な参加・活動などを通じ、市民に親しまれることを目指しており、多くの市民の皆様の文化芸術に触れるきっかけづくりとなることを目的としています。また、官民連携によって見附台周辺地区を一体的に再開発することから見附台地区周辺に人々が集い、交流が生まれるとともに、中心商店街と連携した事業の展開を行うことなどによる相乗効果により、賑わいの創出が図られるものと考えています。	- 質問の回答
○		6	AブロックとCブロックはデザイン等が統一されているが、Bブロックとの関係はどのように考えているのか。	本事業はA・Cブロックのみの整備ですが、提案では、旧東海道沿いの一連の施設として、オープンスペースの確保や旧東海道を意識したデザイン要素を取り入れるなど大きな視点で共通の方向性を持った計画となっています。	○ 対応済み
○		7	駅からの歩行者の動線を考えると、A2ブロックの南東の角・Bブロックの南西の角が重要であると思うが、歩行空間やオープンスペース等についてどのように考えているのか。	ご指摘の通り、A2ブロックの南東の角・Bブロックの南西の角は大変重要だと認識しています。ここが施設群の起点となるよう、オープンスペースの確保と今回の計画地全体の案内板の設置などを今後検討してきます。また、各施設間の動線計画についても、今後検討していきます。	△ 検討する
○		8	七夕以外のときも含めて、見附台周辺地区で何ができるのかを明確にした方がよい。特に主婦はそういった点に興味を持っている。	今後の施設整備等の協議結果を踏まえたうえで広く情報発信していきます。	△ 検討する
○		9	市は事業費の約132億円をどのように捻出するつもりなのか。	(仮称)新文化センターのスリム化や民間の創意工夫やノウハウの活用等により事業費の削減を図り、長期的な影響を考慮したうえで行政サービスの提供等には支障のない金額としています。	- 質問の回答
○		10	見附台周辺地区内に駐車場はどの程度整備される予定なのか。	提案では、A2ブロックとCブロックに合計155台の民間施設利用者用駐車場が整備される計画となっています。	- 質問の回答
○		11	(仮称)新文化センターや民間施設など人が集まる施設ができることによる渋滞対策はどのように考えているのか。	提案では、渋滞に配慮した施設運営として、渋滞発生が予想される店舗開店時に臨時での交通整備員の配置や(仮称)新文化センターのイベント開催時には料金設定、サイン等による対策を事業者が行う予定です。	- 質問の回答

○	12	(仮称)新文化センターや見附台公園は警備員が常駐して管理されるのか。例えば、夜間に公園で騒いでいる人がいた場合はどのように対応されるのか。	提案では、公共施設は夜間無人となっています。 (仮称)新文化センターは夜間には機械警備により管理され、火災や不法侵入等には即座に対応されます。一方、見附台公園は現状と同様に誰もがいつでも利用できるようにするため、特にセキュリティは設ける計画はありませんが、迷惑行為に対しては案内板等で注意喚起することを考えていきます。 仮に夜間に公園で騒ぐといった迷惑行為が多く生じる場合は、市と事業者で対応方法を協議し、迅速な解決に努めていきます。 また、民間施設は現時点ではテナントが確定していないため、各店舗の営業時間、管理方法等は未定です。	— 質問の回答
○	13	(仮称)新文化センターへのアクセスは公共交通機関の利用を前提としているが、平塚駅(北口)から出るバスの停留所はCブロック側であり、(仮称)新文化センターに行くには既存の歩道橋を渡る必要があるのは不便ではないか。	見附台周辺地区は、平塚駅から至近の距離であることから、平塚駅まで鉄道やバスといった公共交通機関を利用したうえで徒歩での来場を想定しています。そのため、本事業では、見附台周辺地区への集客を図るだけでなく、平塚駅から商店街を回遊して見附台周辺地区を訪れることで地域やまちの活性化をめざしていきます。 今後、平塚駅西口から見附台周辺地区への動線整備について、見附台周辺地区の整備内容や市民意見などを踏まえながら方向性などの検討を進めていきます。その中で、ご指摘のあった既存歩道橋のあり方についても検討していきます。	△ 検討する
○	14	(仮称)新文化センターの建設費は妥当な提案であったのか。また、事業者から提案上限額である132億3400万円を下回った事業費の提案があった場合、余剰金の取扱いはどのようなになっているのか。	(仮称)新文化センターの建設費は、民間活力を活用した事業手法によって、従来方式での想定建設費と比較してコストダウンが図られていることから妥当であると考えます。 また、原則は事業者から提案された総事業費内で事業を進めていきますが、本事業をよりよいものとするため必要に応じて余剰金を追加整備等に充てることも検討していきます。	— 質問の回答
○	15	既存の市民センターの北側の道路はどうなるのか。今後も車の通行はできるのか。	提案では、当該道路(市道見附町1号線)は廃道や付け替え等はありませんが、車の通行は可能としたうえで、休日やイベント開催時等の歩行者への配慮について検討するとしています。	— 質問の回答
○	16	現崇善公民館と保全樹「くすのき」がある敷地の間の道路はどうなるのか。	提案では、当該道路(市道見附町8号線)は廃道や付け替え等はありません。そのため、引き続き車の通行も可能です。	— 質問の回答

② (仮称)新文化センターについて <対応の凡例> ◎: 反映する ○: 既に対応、提案済み △: 今後検討する ×: 反映は困難 —: 質問に対する回答

意見	質問	No.	意見・質問内容	市の考え方	対応
○		1	(仮称)新文化センターは、生涯学習センターのような要素を取り入れた複合施設として既存の図書館のサテライト機能やカルチャー活動などにも利用できる施設を望みます。	(仮称)新文化センターは、市民の皆様がさまざまな文化芸術に触れる機会を作ることを基本理念としていますが、提案では、市民サービスを向上させるため子育て相談や図書館返却BOX等について検討するとしています。	× 反映困難
○		2	大和市のシリウスや小田原市のウメコのように、午前中はシニア層、昼間は子育て世代、午後から夜間は学生などの若者が常に利用できる施設を望みます。 例えば、「机・椅子・コンセント」を設けたスペースがあると多くのひとが利用してくれるのではないかと。	提案では、(仮称)新文化センターは多くの市民・来街者が集えるようにカフェスペースやデッキテラスのほか、エントランスホールやホワイエ等にテーブルや椅子を設置して自由に談話・学習等ができるスペースを設ける計画としています。 ご意見も踏まえて、よりよい施設となるように引き続き検討していきます。	○ 対応済み
○		3	大和市のシリウスのように、この施設に来れば子どもを遊ばせることができる等、(仮称)新文化センターで何ができるのかに興味がある。	ご意見を踏まえて、大和市のシリウス等の先行事例を参考としながら、子育て支援に資するワークショップやスポーツ体験、絵本コーナーなど気軽に参加できるプログラムを検討していきます。	△ 検討する
○		4	雨漏りのないようにしっかりとした工事をしてもらいたい。	適切な施工に努めます。	○ 対応済み
○		5	大ホールは3層の客席構造とすると、2階・3階の掃除が非常に大変である。 厚木市文化会館のように2層とした方が掃除がしやすくなる。	提案では、さまざまな規模での利用が可能で市民にとって身近で使い勝手の良い、すべての席から舞台に近いホールというコンセプトで3層の客席構成としています。 観客数により客席部分の利用範囲を設定することで、汚れを抑制し、清掃負荷を減らすことができます。(例: 900名の場合は2階席までしか使用せず、3階席部分は清掃する必要がない等)	× 反映困難
○		6	エントランスホールは十分に人が溜まることのできる空間を確保してもらいたい。	提案では、エントランスホールは小規模なコンサートや吹き抜け空間を活用してパブリックビューイングに利用できる空間となっています。また、普段はテーブルや椅子を設置して気軽に使えるスペースを設けるものとしています。	○ 対応済み

○	7	3層の客席構造の場合、2階以上の客席は急傾斜になる傾向があるためスロープ型の客席としてもらいたい。	提案では、さまざまな規模での利用が可能で市民にとって身近で使い勝手が良く、すべての席から舞台に近いホールというコンセプトで3層の客席構成となっています。 ご意見を踏まえて、2階席以上の客席は極力急傾斜にならないように検討していきます。	× 反映困難
○	8	ホールの大きさ、通路の幅などは使いやすいものとしてもらいたい。	提案では、大ホールの舞台の大きさや通路の幅は既存の市民センターより広い計画となっています。 今後もより使いやすい施設となるように検討していきます。	○ 対応済み
○	9	演劇の出演者はメイクをするため、楽屋にはシャワー室を設けてもらいたい。 また、楽屋のエアコンは個別で管理できるものとしてもらいたい。	要求水準書により、シャワー室を設けた楽屋としています。 また、楽屋のエアコンは個別で管理できるものとしています。	○ 対応済み
○	10	個人的には、リハーサル室は楽屋の上に配置してあった方が良いと思う。	提案では、多目的ホールや大練習室等のリハーサル室として使える諸室の多くは、普通の市民利用も含めた使い勝手を考慮して、1階に配置していますが、さまざまな利用に対応するため一部の諸室は2階に配置する計画としています。	○ 対応済み
○	11	搬入用のトラックの動線はどうなっているのか。 トラックの待機音は、周辺の住宅にも配慮する必要がある。	提案では、(仮称)新文化センター敷地の東側道路から搬入用トラックが出入りする計画としています。トラックの待機音については、注意喚起を行うなど周辺住宅に配慮した対応を検討していきます。	— 質問の回答
○	12	(仮称)新文化センターは、鎌倉芸術館のように文化的なものを平塚市に呼び込めるような施設となるのか。	要求水準書により、指定管理者は主催事業として音楽公演・舞台芸術公演を実施することとしています。 上質な音楽や演劇に触れる機会を提供することも本施設の大事な使命ととらえています。	— 質問の回答
○	13	大ホールにはオーケストラピットを設けているのか。	要求水準書により、大ホールはオーケストラピットを設ける計画としています。	— 質問の回答
○	14	照明や音響の設備はどういったグレードのものを採用しているのか。	要求水準書では、音楽、演劇等の多目的な演目に対応できる舞台機構・音響・照明設備を設置するとしています。	— 質問の回答
○	15	大ホールの設備(特に照明)は最低限度のものではなく、一定のグレードのものを採用するように検討してもらいたい。	ご意見を踏まえて、(仮称)新文化センターの価値や大ホールの稼働率のさらなる向上を図るため、上質な芸術鑑賞ができる場としてさまざまな公演に対応できる設備としていきます。	◎ 反映する
○	16	大ホールの座席は1000席では少ない、1400席は確保してもらいたい。	大ホールの客席数については、市民の皆様や文化団体等にご意見をいただきながら、市民センターのこれまでの利用状況や稼働率、施設整備・維持管理に係るコストなども踏まえて検討しました。 その結果、市民利用や文化芸術のイベントをはじめ、さまざまな用途で大ホールをご利用いただけるよう要求水準書では客席は固定席1200席以上とし、オーケストラピット利用時に1000席以上となるように提案を募集しました。	× 反映困難
○	17	(仮称)新文化センターのコンセプトは、市民利用を中心に考えているということでしょうか。 仮に一流アーティスト等呼び込むことも想定しているのであれば、大ホールの客席は1600席以上は必要ではないか。	(仮称)新文化センターは、市民の皆様がさまざまな文化芸術に触れる機会を作ることを基本理念とし、市民活動や文化創造の発表の場としての活用と共に、上質な芸術鑑賞ができる場としても考えています。	— 質問の回答
○	18	大ホールの座席数が1200席では、一流のプロアーティストを呼び込むことができないのではないか。	1200席程度のホールにおいてプロアーティスト公演を行っている施設事例もあります。 今後、運営方法等を参考にしながら(仮称)新文化センターにおいてもそのような公演が実現できるよう検討していきます。 また、ご意見を踏まえて、(仮称)新文化センターの価値や大ホールの稼働率のさらなる向上を図るため、高い技術をもつアーティストによる上質な芸術鑑賞ができる場としてさまざまな公演に対応できる設備としていきます。	◎ 反映する
○	19	市民利用を中心とした場合に、(仮称)新文化センターを維持していくことはできるのか。	市民の皆様が施設を日常的にお使いいただき高い利用率を維持することが、安定した運営基盤を作るうえで重要であると考えています。市民の皆様にとって利用しやすい、利用したくなるような施設運営を心がけます。	— 質問の回答
○	20	一流のアーティストによる公演などを行って収益を上げていかなければ、長期間にわたって施設を維持管理、運営していくことはできないのではないか。		— 質問の回答
○	21	(仮称)新文化センターのような文化施設は、これから平塚市にひとを呼び込むための「観光資源」となる。	(仮称)新文化センターは、市内外からもご来場いただけるよう魅力的な文化芸術事業の実施やPR等を工夫をすることで「観光資源」となるように取り組みます。	△ 検討する

○	22	アマチュア団体が施設を利用する際の技術者によるサポートとあるが、そのサービスは有料なのか。もしくは、そのサービスの費用も施設利用料に含まれているのか。	提案では、営利目的でない利用で特別な演出を伴わない簡単な機器操作等、常駐の舞台スタッフで対応できる範囲については事前の打ち合わせで調整したうえで事業者が無償でサポートすることとなっています。 ただし、公演内容に直接的に影響を与えるような内容（タイミングがシビアな照明・音響操作、技術者が舞台上に出る必要がある等）、舞台袖以外での操作・作業が必要な内容、スタッフを増員する必要がある内容等については、別途技術者を手配いただくか、増員分の料金が発生する場合があります。	— 質問の回答
○	23	当初は1000席であった大ホールの計画も、1200席以上にしてオーケストラピットを設けることになったため、文化団体の意見も反映されていると思う。	ホールの計画は、オーケストラピットの設置も含め、市民や文化芸術団体からのご意見やご要望を踏まえたうえで、要求水準書を作成し、事業者を募集しました。	○ 対応済み
○	24	オーケストラピット使用時の座席数はいくつなのか。	提案では、オーケストラピット使用時の座席数は約1100席です。（平常時の座席数は1210席（車いすスペース含む））	— 質問の回答
○	25	オーケストラピットは十分なスペースが確保されているものとなっているのか。	提案では、一般的なオーケストラピットとしての利用に必要なスペースを確保しています。	— 質問の回答
○	26	平塚市のような車依存度が高いまちで、なぜ（仮称）新文化センターの利用者用駐車場を整備しないのか。	見附台周辺地区は、平塚駅から至近の距離であることから、平塚駅まで鉄道やバスといった公共交通機関を利用したうえで徒歩での来場を想定しています。そのため、本事業では、見附台周辺地区への集客を図るだけでなく、平塚駅から商店街を回遊して見附台周辺地区を訪れることで地域やまちの活性化をめざしていきます。	— 質問の回答
○	27	（仮称）新文化センターの規模を踏まえると、地区内の駐車台数は十分であるのか。	（仮称）新文化センターの利用者が利用できる駐車場については、余剰地活用事業による駐車場の一時利用や紅谷町駐車場等の近隣駐車場との提携などについて今後検討していきます。	— 質問の回答
○	28	（仮称）新文化センターの上部にある箱型の部分（フライタワー）にはデザイン性も含めて、窓などは設置しないのか。	提案では、フライタワーは舞台演出に必要な各種設備を収納する空間であるため、窓は設置しない計画としています。	— 質問の回答
○	29	「見附」という地名を踏まえて、（仮称）新文化センターの施設名称は検討してもらいたい。	施設名称は、施設の設置管理条例において条例名を定めるほか、愛称の付与についても検討をしていきます。	△ 検討する
○	30	（仮称）新文化センターの名称には「文化会館」という名称を取り入れてもらいたい。		△ 検討する
○	31	（仮称）新文化センターの利用料金と利用時間帯はどのようになるのか。	（仮称）新文化センターの利用料金や利用時間帯については、周辺ホールの状況等を勘案しながら、市民の皆様にとって利用しやすい施設となるよう検討していきます。	— 質問の回答

③見附台公園について <対応の凡例> ◎：反映する ○：既に対応、提案済み △：今後検討する ×：反映は困難 —：質問に対する回答

意見	質問	No.	意見・質問内容	市の考え方	対応
	○	1	見附台公園の既存樹木は活かしていく計画なのか。	提案では、主に公園西側の既存樹木は活かしていく計画としています。非常に大きく育ち、道路に掛かったり、密集しすぎている樹木については、必要に応じて剪定・伐採を行っていきます。	— 質問の回答
	○	2	樹木管理を適切に行っていただきたい。 今後、樹木の管理については市と事業者のどちらに相談すべきなのか。	引き続き、適切な樹木管理を行っていきます。 工事期間中の樹木管理については事業者と協議のうえで管理者を決定していきます。 また、見附台公園の再整備後は事業者へご相談ください。	— 質問の回答
	○	3	公園でのボール遊びによって「ボールが自宅に飛んでくる」、「ボールが車に当たった」などの被害があった際には、市と事業者のどちらが対応するのか。	見附台公園の再整備後は、利用に関するご相談等は事業者が対応するものとなります。	— 質問の回答
○		4	現在の見附台公園や見附台広場で夜間の騒音被害（サッカーや音楽等）があり、警察に通報した経験もある。 そういった被害が生じないように、公園の使い方のルールをしっかりと定めてもらいたい。	ご意見を事業者と情報共有し、看板設置や管理者の指導を行えるように検討していきます。	△ 検討する

○	5	新しい見附台公園には、子どもが遊ぶためのスペースや遊具は設けられるのか。また、砂場を設置する場合は「犬のフン」の対策を考えてもらいたい。	提案では、新しく整備される見附台公園には、子供が遊ぶためのスペースや遊具を設置する計画としています。 また、砂場も設置する計画としていますので、「犬のフン」の対策を踏まえた整備の方法や管理の対策を検討していきます。	△ 検討する
○	6	現在の見附台広場での活動（ゲートボールやグランドゴルフ）は、新たに整備される見附台公園でもできるのか。	「見附台広場」は見附台周辺地区の整備に着手するまでの間、暫定的に利用していたものです。A1ブロックにおける（仮称）新文化センターと見附台公園の整備に伴い、平成31年7月以降に閉鎖します。 今後は新たに整備する「見附台公園」の一部としてスペースを確保し、平塚市都市公園条例に基づきご意見にあるような活動が今後も継続してできるように検討していきます。	△ 検討する
○	7	見附台公園、見附台広場は平成31年7月以降は利用できなくなる予定だが、工事期間中でも一部利用可能な区域はないのか。	提案では、A1ブロックについては、工事全期間中にわたってA1ブロック周囲全体に仮囲を設置するため、工事期間中に利用可能な区域はありません。 なお、閉鎖時期については、事業者との協議で決定し、決まりましたら市ホームページ等でお知らせします。	— 質問の回答
○	8	新たに整備される公園は、現状の見附台公園や見附台広場の利用も踏まえて、さまざまな人が利用できる公園としてもらいたい。	提案では、多様な遊具や健康器具を設置して、さまざまな世代の方が日常的に利用できる「プレイパーク」、マルシェやスポーツイベントなど多彩なイベントにも対応可能な「芝生広場」などを整備する計画としています。 ご意見を踏まえて、よりよい公園となるよう検討していきます。	△ 検討する

④付帯事業について <対応の凡例> ◎：反映する ○：既に対応、提案済み △：今後検討する ×：反映は困難 —：質問に対する回答

意見 質問	No.	意見・質問内容	市の考え方	対応
○	1	Cブロックはスーパーだけでなく、マンションなども合わせて整備するような高度利用を図った方が、中心市街地の活性化や定住促進に効果的なのではないか。	募集要項等ではマンション等の住宅系用途を提案することも可能としましたが、定期借地方式であることやCブロックにおいて高度利用を図った場合の事業継続性やテナント撤退リスク等を踏まえて事業者が検討した結果、2階建ての民間施設が提案されました。	× 反映困難
○	2	A2ブロックのレストランは、いわゆるファミレスなどではなく、（仮称）新文化センターのレストランとして平塚の価値を上げる、新しい発信となるようなものを検討してもらいたい。	A2ブロックの民間施設は、にぎわい創出や事業の継続性、経済的条件などを事業者が総合的に判断したうえで決定するものとなりますが、話題性のあるテナントの誘致に関するご意見を事業者と共有したうえで、ご意見を踏まえて具体的な民間施設を検討する旨の回答を得ています。	△ 検討する
○	3	A2ブロックに整備するテナントについては、「平塚ならでは」、「平塚レベル」だけでなく、「湘南地域で初出店」といった話題性のあるものを希望する。		△ 検討する
○	4	この計画は端的にいうと、スーパーと低層の飲食店舗とホールを整備するだけである。これで中心市街地が活性化するのか。活性化を目的とするのであれば、なぜCブロックはもっと高度利用を図らないのか。	提案では、見附台周辺地区全体の整備に加えて、運営側で「賑わい創出担当」を配置することや4大フェスティバル・公園を活用したイベントの開催、年間を通した「いつも何かやっている」事業展開、中心商店街との連携したイベント開催により、平塚の魅力を活かした賑わいづくりに寄与し、中心市街地の活性化を促すとしています。 Cブロックについては、高度利用を図った場合の事業継続性やテナント撤退リスク等を踏まえて事業者が検討した結果、2階建ての民間施設が提案されました。	— 質問の回答
○	5	A2ブロックは平屋建てのカフェや飲食店舗の提案であるが、定期借地権設定契約後に事業収益を優先した土地利用がされる可能性はないのか。	提案時の計画を前提とするように、事業者と協議していきます。	— 質問の回答
○	6	付帯事業の事業期間は何年間で提案されたのか。	付帯事業の事業期間は37年6ヶ月間で提案されています。	— 質問の回答
○	7	Cブロックの民間施設は中心市街地の賑わい創出や回遊性の向上に効果があるものなのか。	Cブロックには来店頻度の高い生活関連店舗とすることで日々の集客から賑わいや人の流れが創り出されると考えています。	— 質問の回答

⑤その他 <対応の凡例> ◎：反映する ○：既に対応、提案済み △：今後検討する ×：反映は困難 -：質問に対する回答

意見	質問	No.	意見・質問内容	市の考え方	対応
	○	1	今後、基本契約等を締結した後に市民参加や市民からの意見・要望を取り入れていくつもりなのか。	提案では、市民から参加者を公募した会議やワークショップを実施し、市民と協働で（仮称）新文化センターのオープニングイベント等を検討するとしています。	— 質問の回答
	○	2	事業に対してさまざまな意見が市民から出ている中で、予定通り平成31年1月に基本契約等を締結するのか。	基本契約等の締結以降もよりよい事業となるよう事業者と協議を継続するとともに、必要に応じて市民の皆様に対して事業進捗状況の情報提供を行いながら、平成34年3月の（仮称）新文化センター供用開始をめざして事業を進めていきます。	— 質問の回答
	○	3	S P Cは結成するのか。	提案では、S P Cの設立はありません。	— 質問の回答
	○	4	「中心商店街との連携」とは、具体的に運営会議のようなものを設置することを考えているのか。	提案では、（仮称）新文化センターの開館前の段階では、エリアマネジメント機能としての地域協議会やオープニングイベントに向けた開館準備プロジェクト、開館後の運営に関する改善や要望に係る運営改善委員会、さらに4大フェスティバルの実行委員会組織の運営など、それぞれについて定期的な会合を設置する予定としています。 また、これらの会合のメンバーとして中心商店街の皆様に参加いただきたいという事業者の考えです。	— 質問の回答
	○	5	現在、防災行政用無線が自宅マンションに向いているため、大きな音で寝ていた子どもが起きてしまうことがある。 防災行政用無線の設置位置や音量は、そういったことに配慮してもらいたい。	さまざまな防災情報等をお知らせするという防災行政用無線の役割を踏まえたうえで、設置位置や音量などは可能な限り配慮するよう努めていきます。	△ 検討する
	○	6	市が平成30年8月28日に公表した「募集要項等に関する質問回答」では、受注者（事業者）から発注者（市）に引き渡す成果物の著作権は市に帰属するものとしている。 知的作業の委託契約では、著作権は原著作者者に所属し、委託者はその使用权を委託費の対価として得るとするのが一般的であるが、法律的見解を伺いたい。	著作物に該当する施設の設計、建設等を発注する場合、当該施設自体や施設の設計に関する著作権が発注者・受注者のいずれに帰属するかについては、著作者人格権といった一部の権利を除き、当事者間の合意で帰属を決定することができます。 本事業では、著作者人格権といった一部の権利を除いた著作権は施設引渡時に事業者から市に帰属することとしています。	— 質問の回答
	○	7	事業者選定委員会の委員はどのように選定したのか。	本事業では、（仮称）新文化センター等の設計・建設業務だけではなく、長期間にわたる施設の維持管理業務や運営業務、民間収益施設の誘致なども含めて一体的な提案を求める事業特性を踏まえて、「官民連携」「建築」「文化振興」「地域振興」「法務」「会計」「行政」の各分野から委員を選定しました。 なお、平成30年12月20日に公表した「見附台周辺地区整備・管理運営事業（A・Cブロック）選定結果及び審査講評」で、委員の詳細はご確認いただけます。	— 質問の回答
	○	8	事業者選定委員会の委員には平塚市に関連するひとが含まれているのか。	事業者選定委員会の委員は、事業の目的を達成するために必要な分野の専門家であると同時に平塚市に関連する方を中心とした構成としました。 なお、平成30年12月20日に公表した「見附台周辺地区整備・管理運営事業（A・Cブロック）選定結果及び審査講評」で、委員の詳細はご確認いただけます。	— 質問の回答
	○	9	事業者の提案を市民に選ばせるべきではないのか。	事業者提案の選定にあたっては、（仮称）新文化センター等の施設計画だけではなく、長期間にわたる施設の維持管理・運営業務や事業リスクへの対策、民間収益施設の長期事業収支計画などに関する専門的な知識を有する必要があることから、学識経験者等からなる事業者選定委員会による選定としました。	— 質問の回答
	○	10	事業者選定委員会の委員には、演劇家やプロの歌手など施設を利用する側のひとは含めなかったのか。	（仮称）新文化センターの方向性や設備、文化事業の実現、賑わい創出などについて審査するため「文化振興」の分野から委員を選出しました。	— 質問の回答
	○	11	平塚駅から見附台周辺地区までの動線（引き込み線跡）は、歩きやすく整備されるのか。	平塚駅西口から見附台周辺地区への動線のひとつとなる引き込み線跡（錦町1号線～見附町6号線）については、見附台周辺地区の整備内容や市民意見などを踏まえながら整備の方向性などを検討していきます。	— 質問の回答